

超速硬コンクリート

スーパージェット®コンクリート

Super Jet Concrete

重量計量制御・バッチ式の移動プラント車により
コンクリート製造・品質の信頼性向上を実現します。



空港滑走路：誘導灯と付属配管の改修設置にて

特長

3時間で24N/mm²以上の強度発現

普通のコンクリートに比べ、スーパージェットコンクリートは、より活性度の高いカルシウムサルフォアミネート系鉱物(アウィン)により、より早く、より高い強度を実現します。

長期にわたる安定した強度増進

アルミナセメントのような強度低下がなく、ポルトランドセメントと同様に、長期にわたり強度が増進します。

低温環境下でも優れた強度発現性

低温環境下では、常温より強度発現が若干遅れますが、普通コンクリートに比べて、水和活性が高いため、短時間で所定の強度が得られます。

作業時間の調整が可能

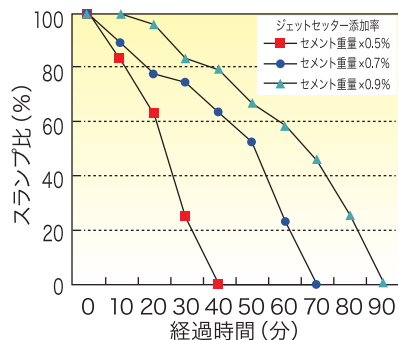
ジェットセッター(専用遅延剤)により、作業に必要な可使用時間(20~50分)を任意に調節できます。

仕上がりの色

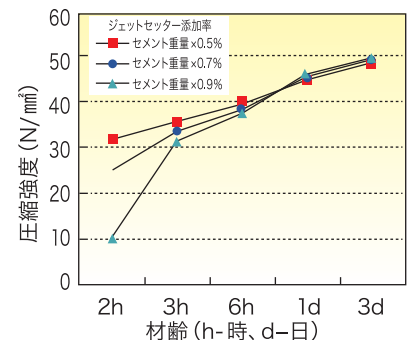
硬化後の色は、普通コンクリートとほぼ同等です。

20℃におけるジェットセッター添加率と可使用時間・強度例

スランプ変化



圧縮強度



超速硬コンクリート スーパージェット®コンクリート

◎ バッチャジェットミキサ車



重量計量のバッチ式移動プラント車による
各種コンクリート製造

スーパージェットコンクリート

スーパージェットSFコンクリート

スーパージェットモルタル

各種有機繊維の混入等

道路	舗装コンクリート版補修、管等各種埋設物の埋戻し、側溝街渠の補修
橋梁	伸縮継手、床版、拡幅間詰め、床版増厚、排水マス
鉄道	踏切、枕木取替、軌道下補強
空港	舗装コンクリート版補修、誘導灯の改修
工場	土間、機械基礎、構内軌道補修
港湾	護岸改修

● 標準仕様例

車両仕様	全長 (mm)	10,500
	全幅 (mm)	2,490
	全高 (mm)	3,450
ミキシング方式	二軸強制	
1バッチ混合量 (m ³)	0.1~0.3	
吐出能力 (m ³ /h)	6~9	
配合設定	コンピュータ制御	

使用時の注意

- 締固めには、必ずパイプレータをご使用ください。
- 施工要員は、従来のコンクリート打設の場合の1.5倍が目安です。
- 多層打ちは避け、片押し一層打ちにて仕上げてください。
- 表面仕上時(後)には、被膜養生剤エフェクト-J(別売)の使用を推奨いたします。
- 短時間でも散水・シート養生は、初期ひび割れの防止にきわめて有効です。
- 10℃以下での打設の場合は、保温養生を行ってください。

● スーパージェットコンクリート配合例

種類	温度 (°C)	スランブ (cm)	Gmax (mm)	W/C (%)	S/a (%)	単位量 (kg/m ³)							作業時間 (分)
						セメント	水	砂	砂利	高性能減水剤	凝結遅延剤	鋼繊維	
プレーン	15-25	12	20	37.5	44	400	150	798	1,034	2.0-6.0	2.4-4.0	—	30
	15-25	8	20	36.0	42	400	144	767	1,081	2.0-6.0	2.4-4.0	—	30
鋼繊維補強	15-25	5	20	38.9	55	416	162	939	784	2.08-6.24	2.5-4.2	100	40

● スーパージェットコンクリート強度特性例 ※ 数値は実験室データ例です。

種類	温度 (°C)	スランブ (cm)	凝結遅延剤 (セメント重量%)	作業時間 (分)	圧縮強度 (N/mm ²)					
					3h	6h	1d	3d	7d	28d
プレーン	15-25	12	0.6	30	31	38	44	48	51	58
	15-25	8	0.6	30	32	37	42	46	50	56
鋼繊維補強	15-25	5	0.9	40	30	41	47	55	59	65

スーパージェットコンクリート取扱い上の注意

- 目や皮膚への接触を避けるため、適切な保護具(手袋、保護メガネ、防塵マスク等)を着用し、換気に注意して下さい。
- 取扱い後は、顔、手、口等を水洗いして下さい。
- 万が一、本資料に提示する以外の方法や分野で本製品をご使用いただく場合には、ご使用者側にて調査検討下さいませようお願い致します。
- ここに記載された事項は、標準的な試験方法に準拠した弊社の実験データに基づくものですが、多岐にわたる条件下での実際の現場結果を保障するものではありません。

「ジェット」は、太平洋セメント(株)、住友大阪セメント(株)のセメント系材料の登録商標です。

